

調査結果 4:十分できている 3:まあまあできている 2:ややできていない 1:まだまだ不十分である

調査項目	「4:十分できている」と答えた割合%	「3:まあまあできている」と答えた割合%	「2:ややできていない」と答えた割合%	「1:まだまだ不十分である」と答えた割合%
1 朝活動の学習の時間に、その学年の実態にあった学習を行うようにしたり、個別指導を行ったりして、基礎学力の向上を図る。	10%	80%	10%	0%
2 授業の挨拶、返事、姿勢、忘れ物なしなど、継続的な指導を行い学習規律の定着と向上を徹底する。	10%	90%	0%	0%
3 年度当初の模範授業や研推からの授業提案を通して、稲津小の算数の授業の進め方について共通理解を図る。	0%	91%	9%	0%
4 学習の流れが分かる構造的な板書、理解を助ける視覚的な板書の工夫をする。	10%	80%	10%	0%
5 ペア交流、少人数交流などを学習中に位置づけ、一人一人が自分の考えをもったり、学びを深めたりできるようにする。	0%	80%	10%	10%
6 あいまいさを明らかにするための発問や授業終末の評価問題などを吟味することで、一人一人の学習状況をつかみ、定着の見届けを行う。	40%	50%	10%	0%
7 「授業改善のチェックリスト」をもとに、算数の授業改善に取り組む。	0%	78%	22%	0%
8 CRTの結果に基づいた各学年の重点単元の指導を行う。	10%	80%	10%	0%
9 年間計画に沿って、「特別の教科道徳」を実践する。	30%	70%	0%	0%
10 家庭学習の指導と習慣化を図るために、児童や家庭への働きかけを行う。	18%	82%	0%	0%
11 生活科・総合的な学習・体験活動など、地域と連携した探求活動を行う。	30%	40%	20%	10%
12 ALTと打ち合わせなどを通して連携をし、担任が主となる英語活動の向上を行う。	13%	63%	25%	0%
13 読書指導の充実(おすすめの本の指導等)を図る。	30%	30%	30%	10%
14 気になることがあれば、家庭へ連絡したり、学級の様子を通信で知らせたりするなど、家庭と連携した生徒指導を充実させる。	45%	55%	0%	0%
15 帰りの会などで、子ども相互でよいことを見つけを行ったり、教師による子どもの価値づけを意図的にしたりなど、自己有用感の向上を図る。	27%	64%	9%	0%
16 学級の歩み掲示や子ども作品の朱書きの代わりに、活動中の日常的な認め励ましを意図的に行う。	10%	80%	10%	0%
17 学校生活アンケート、いじめアンケートや個別懇談を通して、児童理解に努める。	20%	80%	0%	0%
18 気になることは報告し、教育相談・特別支援コーディネーターを中心とした迅速な対応を行う。	73%	27%	0%	0%
19 必要に応じてケース会議を行い、職員全体で共通理解し指導にあたる。	45%	55%	0%	0%
20 外部講師や地域指導者など、積極的に地域と連携や協力を得ながら、学習を進めている。	27%	27%	27%	18%
21 地域の活動への積極的な参加を児童に働きかける。	0%	22%	56%	22%
22 学校だより、学級学年通信、保健だよりなど発行し、学校の教育活動や指導のねらいなど家庭に伝えている。	18%	82%	0%	0%
23 いじめや嫌がらせの防止に努め、新たな不登校が生まれないよう心がけている。	33%	67%	0%	0%
24 分団会や、適宜ミニ分団会を通して、登下校における安全指導の充実を図る。	25%	67%	8%	0%
25 教職員の「報連相」、特に「報」の徹底をする。	58%	42%	0%	0%
26 校務分掌の責任遂行、組織的な運営・取組・見届けを行う。	8%	67%	25%	0%
27 黙々掃除チャイムで集会道具を大事に扱うなど、清掃活動の向上に努める。	17%	83%	0%	0%
28 トイレスリッパそろえ、挨拶、廊下歩行等、基本的な生活習慣を徹底するための指導を行う。	8%	83%	8%	0%
29 朝運動の時間を通して、子ども達の運動の活発化と体力の向上に努める。	36%	64%	0%	0%
30 すみやかな配膳・片付け・食事のマナーなど、子ども達の食育の充実を図る。	18%	82%	0%	0%
31 歯みがきの徹底・定期的な歯みがきチェックなど継続的な指導を行う。	0%	82%	18%	0%
32 安全点検・引き取り・避難訓練・不審者対応訓練を通して、子どもの危機管理能力の向上を図る。	27%	64%	9%	0%
33 業務を見直し、タイムマネジメントの改善に取り組んでいる。	8%	67%	25%	0%